

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズボンド木曽川		公表日		2026年3月10日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・十分な広さを確保しています。また、使用する場所を人数に応じて分けています。	・広々としたスペースをうまく利用した支援や構造化を進めるとともに、日々の児童の行動観察に努めていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・原則として児童2.5人に対して1名の職員を配置し、こどもの特性次第で職員をプラスで配置する場合もあります。	・これからも継続して配置してまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・訓練指導室からトイレまでバリアフリーになっています。学習室から訓練指導室の間の階段は、職員が見守り安全に登り降りができる環境にしています。	・学習室に行くのに2段の段差があるため、手を引いて降りると共に、こども達自身で足元を確認することや、段差を活かして昇り降りを繰り返して運動の一貫にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日支援後、掃除を欠かさず行い、空気清浄機を使用し、清潔な環境で過ごせるようにしています。	・これからも継続してまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて、パーティションを用い、簡易的な個別な部屋を作ることにも可能となっています。	・こどもの状況に合わせて、職員室を利用可能としています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・休みの職員がいても、後日、振り返られるように記録をとりファイルしています。 ・毎日のミーティングの中で職員全員が意見を聞き、こども達の様子を把握しています。	・これからも継続してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様への評価表の配布のほか、ラインや電話での連絡をとっており、ニーズに応じた業務改善を行っています。 ・送迎の際にお話を聞き、職員間で共有しています。	・保護者様からの意見を把握し、これからも業務改善に取り組んでまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日、受け入れ前ミーティングを実施。支援終了後に気になる点の話し合いをしている。 ・職員会議を実施し、意見を出し合っています。	・これからも継続してまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・外部評価は行なっておりませんが、市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れています。	・これからも市の福祉課や相談支援専門員の意見をいただき、業務改善に取り組んでまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・本部研修・教室に顧問を招いての講習を定期的に実施しています。 また、市役所等の研修にも参加しています。	・研修で学んだことを、普段の支援に活かせることができるよう努めてまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページにて公表しております。	・これからも継続してまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・Vineland-II、ASSISTを専門職員と実施し、こどもと保護者のニーズを取り入れ、支援会議を行い、専門職員のスーパーバイズを受けて、放課後等デイサービス計画を作成しています。	・これからも継続していき、よりニーズや課題に合った放課後等デイサービス計画ができるよう努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・作成するにあたって、職員で支援会議をお行ない、話し合いをしながら作成しています。その際にモニタリングの様子等、児発管から職員へ報告しています。	・これからも小さな意見や疑問等も共有していきながら、支援会議を行い、作成に繋げていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・毎日のミーティングで支援内容を伝え、定期的にケース検討を実施し放課後等デイサービス計画に沿った支援をしています。	・これからも継続してまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・キッズボンドグループで、Vineland-IIやASISTを活用しています。	・アセスメントの記録や日々の記録等、職員全員が確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・ガイドラインに沿って、保護者様のニーズも取り入れ、こどもの状況や特性等に配慮し、分かりやすい具体的な支援内容で支援を行っています。	・具体的な支援内容を保護者様にもお伝えしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・活動・行事ミーティングでは、原案を持ち寄り職員のディスカッションで決定しています。	・これからも、今利用しているこども達全体を考慮しながら決定してまいります。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・子ども達の状況に合わせて、活動・行事を決めています。特に、季節行事を大切にし他教室の行事等も参考にしながら、工夫しています。	・これからも継続していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別活動には、保護者様のニーズを取り入れ一人一人が楽しく参加できるようにしています。 ・集団活動では、異年齢との関わりが持てるようにしています。	・これからも継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎日ミーティングをし、その日の支援内容・子ども達の様子を職員全員で周知しています。	・その日休みの職員も、後日確認できるようにしていき、連携して支援を行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・個人記録に残しながら、職員一人一人がその日の子ども達の様子を報告、共有し、全員が周知した上で、次回の支援に繋げています。	・これからも継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・些細な事も記録に残し、支援の振り返りやケース検討時に活用し、支援・改善に繋げています。	・記録をとり、職員全体が見ることができるようになっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・モニタリング時以外にも見直しの必要がある場合には、保護者様と連絡をとり計画の見直しをしています。	・これからも継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・5領域と共に、組み合わせた活動に取り組んでいます。	・これからも継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・子ども達自身で決めることができるような支援の仕方を行なっています。	・これからも継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管はもちろん、会議前には、職員で会議を開き、今の子どもの状況を把握した上で参画しています。	・これからも継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・関係機関の助言を受けながら支援ができるようにしています。	・これからも継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・保護者様とは、連絡帳やライン、電話を通して、学校とは、毎月発行している活動内容が書かれた通信を、担任の先生にお渡しし、必要に応じて連絡をとり適切に行っています。	・保護者様にいただいた予定表と、学校の下校時間を合わせて、再度間違いが無いように今後も行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・保護者様に了承を得てから、必要に応じて、情報共有に努めています。	・今後も積極的に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・学校を卒業し障害福祉サービス事業所に移行する児童は今現在おりませんが、引越し等で卒業し、他のデイサービスを利用する場合、保護者様の意向で情報を提供しています。	・今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報を提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		・公認心理師や言語聴覚士から助言を受けています。 ・専門機関と連携し、研修等にも参加し、最新の情報を取り入れられる体制をつくっています。	・これからも継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7		・児童館等との交流はないが、お出かけ先の施設に行った際、他の子ども達と活動する機会を設けています。	・児童クラブや児童館との交流も取り入れられるよう努めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・参加しています。	・これからも継続していきます。
保 護	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・必要に応じてお子様の様子や、目標等をお伝えし、ご自宅での様子等お伺いしています。	・これからも継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・プログラムとしては行なっていませんが、個別の相談に応じています。	・ご希望に応じて、家族で参加できるプログラムや保護者様にも参加いただける勉強会などを企画するか検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に丁寧に説明しています。	・これからも継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・高学年の子どもにも今後の意向や目標を確認し、その旨を保護者様に報告しています。作成前には、保護者様にモニタリングを行っています。	・これからも継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・説明をしています。	・これからも継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて事業所に来ていただいたり、送迎時や電話で相談支援を行っています。	・これからも継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている	7		・コロナ感染予防の観点から行えずにいますが、児発管を中継とし、情報を共有しています。	・保護者様に意見をいただき、開催するか検討していきます。

者 へ の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情があった場合には、担当職員が管理者、児発管に報告し、保護者様と面談するなど速やか且つ適切な対応を取っています。	・これからも継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月「キッズポンド通信」を発行し保護者様に配布、HPにアップし活動の様子を伝えています。日々の活動の様子もFacebookに毎日アップしています。翌月の予定表も一緒に配布しています。	・これからも継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・書類は鍵付き書庫で厳重に保管しています。HP上の写真には、保護者様の同意を得た上で、モザイクをかけています。	・これからも継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・あいまいな表現は使わず、分かりやすい説明に心がけ、場合によっては視覚化して意思疎通を図っています。	・これからも継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・現在招待をすることは行っていないが、招待された行事等には、積極的に参加しています。	・少しずつ招待して行う行事も検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・月一回、避難経路の確認、避難、防犯、動画鑑賞等で訓練を行い、教室内の掲示、契約時に説明しています。	・これからも継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年1回以上の研修、命を守る訓練を行っています。	・これからも継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・服薬等、契約時に確認し、1年ごとに再確認し、また、新しい服薬等が始まった時には、保護者様からご連絡をいただき、周知しています。	・これからも継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・アレルギーを持つ児童がいる為、食材やお菓子を購入する際は、十分に注意しています。保護者様にも確認を取っています。	・今後も保護者様が医師から受けた情報に基づいて対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画を作成し、年1回以上研修、実践訓練を行っています。	・これからも継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・取組内容を教室内に掲示で周知しています。	・これからも継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事業所内だけではなく、グループ全体で共有しています。	・これからも継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・研修は毎週行っているが、その中のテーマとして取り上げています。	・これからも継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・基本的に身体拘束を行わずに支援を行なう方針です。現在も事例はありません。	・これからも継続していきます。	